World Cup Japan 2002 Bidding Committee

15の自治体が国内開催の候補地に選ばれています。

札幌市 Sapporo
青森県 Aomori
宮城県 Miyagi
新潟県 Niigata
茨城県 Ibaraki
埼玉県 Saitama
千葉県 Chiba
横浜市 Yokohama
静岡県 Shizuoka
名古屋市 Nagoya
京都府 Kyoto
大阪市 Osaka
神戸市 Kobe
広島市 Hiroshima
大分県 Oita

2002 World Cup Japan

招致活動協賛企業

ミズノ	住友銀行
デサント	第一生命保険
フジタ	全国牛乳普及協会
前田建設工業	スニッカーズ®
アシックス	ファミリーマート
モルテン	スルガ銀行
日本ビクター	エポック社
プーマグループ	大和証券
ピーアンドディー	東芝
日本航空	ダイダン
JTB	三菱商事
西鉄旅行	ジャパンエナジー
富士写真フイルム	大賀

2002年、日本沸騰。

世界がいちばん熱くなる、ワールドカップ。そのドキドキの感動やワクワクの興奮を、私たちの国へ、あなたの街へ、ラヴコールしましょう。

2002 World Cup Japan

第12回アジア競技大会

サッカー日本代表 壮行試合

1994年9月27日［火］ 東京・国立競技場

第1試合 日本女子代表vsオーストラリア女子代表 16:30 KICKOFF

第2試合 日 本 代 表vsオーストラリア代表 19:00 KICKOFF

KIRIN 新鮮な明日へ

キリンラガービール、ください。

ミスター・ビール。
キリンラガービール

ビールは、20歳になってから。あきかんは、リサイクルへ。キリンビール株式会社

第12回アジア競技大会

サッカー日本代表 壮行試合

1994年9月27日(火)　東京・国立競技場

第1試合　16:30キックオフ

日本女子代表 vs オーストラリア女子代表

レフェリー

■主審　アルベルト・テハーダ・ノリエガ
Alberto TEJADA Noriega

■線審　吉澤久恵
Hisae YOSHIZAWA

■線審　渡辺弥生
Yayoi WATANABE

■予備審判　布瀬直次
Naotsugu FUSE

第2試合　19:00キックオフ

日本代表 vs オーストラリア代表

レフェリー

■主審　ゾラン・ペトロビッチ
Zoran PETROVIC

■線審　岡田正義
Masayoshi OKADA

■線審　福田　寛
Hiroshi FUKUDA

■予備審判　小川佳実
Yoshimi OGAWA

目次

4 ごあいさつ
6 日本代表メンバー紹介
8 オーストラリア代表メンバー紹介
14 日本女子代表メンバー紹介
16 オーストラリア女子代表メンバー紹介
20 日本代表チーム紹介
21 日本女子代表チーム紹介
24 “2002年の鼓動”
30 第12回アジア競技大会
32 アジア競技大会における日本代表
34 第6回日本女子サッカーリーグ後期日程

主催：財団法人 日本サッカー協会
主管：東京都サッカー協会

ごあいさつ
MESSAGE

財団法人 日本サッカー協会
会長 長沼　健

このたび、広島で開催されますアジア競技大会を前に「第12回アジア競技大会サッカー日本代表壮行試合」が、オーストラリア男女の代表を招き東京で開催されます。

この試合は日本にとって非常に大切な意味を持っています。男子においては、昨年のワールドカップ最終予選敗退後、アジア競技大会を目標にスタートが切られました。一昨年のアジアカップで優勝している日本は追われる立場にあり、新チームの真価が問われることとなるでしょう。

また、女子においては、来年スウェーデンで開催されます世界選手権への出場権がかかっています。この出場権を獲得するためにはアジア競技大会で２位以内に入ることが絶対条件であり、日本にとっては決して楽な道のりではありません。

アジア競技大会を成功させるため、ひいては日本のサッカーが世界へ羽ばたくためにもこの壮行試合での結果が重大となることは間違いありません。サッカー関係者のみならずファンの皆様の絶大なるご声援を期待しております。

最後になりましたが、この壮行試合の開催にあたりご協力、ご支援いただきました関係者の方々に、厚く御礼を申し上げます。

オーストラリアサッカー協会
会長 ジョン・コンスタンチン

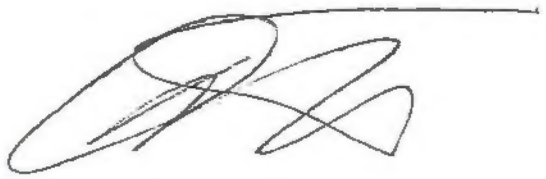
日本代表チームとの試合にお招きいただき、オーストラリアサッカー協会を代表いたしまして、日本サッカー協会に感謝いたします。

オーストラリアサッカー協会と日本サッカー協会との間に築かれてきた関係は、両国にとって重要なものです。いまや、両国のサッカーの発展は目覚ましく、どんな対戦相手からも一目置かれるような存在となりました。今回の日本訪問は、オーストラリアとアジアとのさらなる関係強化を示すものでもあります。スポーツを通じてのきずなを基礎に、政治、文化、ビジネスの分野でも、お互いの国々の関係は発展を続けています。

競技面において、オーストラリアのサッカーは異例の進歩を遂げています。代表チームはワールドカップ・アメリカ大会の予選最終戦で、惜しくも決勝大会への出場権を逃しましたものの、アルゼンチンと緊迫した試合を演じました。オリンピックのレベルでは、1992年バルセロナ大会で３位決定戦に進出、1996年アトランタ大会ではそれを上回る成績を残したいと願っています。ユースでは、20歳以下と17歳以下の代表が、それぞれの世界選手権ですばらしい活躍をみせました。

このたびの日本との試合は、非常にエキサイティングなものになると期待しています。ワールドカップ・アメリカ大会のアジア最終予選をテレビで観戦しましたが、日本が予選を突破できなかったことは、不運以外の何ものでもありません。

私どもの代表チームが日本でプレーできるのは大いなる喜びであることを、重ねて申し上げます。そして近い将来、日本代表チームがオーストラリアで試合を行うことも、楽しみにしています。



JAPAN NATIONAL TEAM

■ポジション　■所属クラブ　■生年月日(年齢)
■身長／体重　■主要大会参加歴

★個人データの略号内容　W＝ワールドカップ予選(第14回イタリア、第15回アメリカ)　オ＝オリンピック予選(第24回ソウル、第25回バルセロナ)　ア＝アジア大会(第11回北京)　A＝インターナショナル「A」マッチ(FIFA公認国際試合)出場回数

パウロ・ロベルト・ファルカン
Paulo Roberto FALCÃO
■監督
■1953年10月16日(40歳)

ジルベルト・チン
GILBERTO TIM
■フィジカルコーチ
■1941年9月1日(53歳)

ジョン・ロペス・アベリア	João Lopes ABELHA	■ＧＫコーチ
若山　待久	Machihisa WAKAYAMA	■ドクター
武井　経憲	Tsunenori TAKEI	■ドクター
神馬　　爾	Chikashi JINBA	■マッサー
真野　雅章	Masaaki MANO	■マッサー
村野　　晋	Susumu MURANO	■総務
村山　　勉	Tsutomu MURAYAMA	■主務
向笠　　直	Tadashi MUKASA	■通訳
寺本　一博	Kazuhiro TERAMOTO	■エクィップマネージャー

本並　健治
Kenji HONNAMI
■ＧＫ　■ガンバ大阪　■1964年6月23日(30歳)
■186センチ／85キロ　■A(3)

腎臓破裂というアクシデントを克服して、今季奇跡的にカムバックしたベテラン。鋭い反応で至近距離のシュートに強く、ことし5月のフランス戦で後半に代表デビューした。

前川　和也
Kazuya MAEKAWA
■ＧＫ　■サンフレッチェ広島　■1968年3月22日(26歳)
■188センチ／84キロ　■第15回W、A(7)

恵まれた体を生かした積極果敢な守りをみせて、レギュラーの座を狙う。2年前のアジアカップ決勝ではゴールを守っており、地元開催のアジア大会でも活躍が期待される。

下川　健一
Ken-ichi SHIMOKAWA
■ＧＫ　■ジェフユナイテッド市原　■1970年5月14日(24歳)
■187センチ／88キロ　■第25回オ、第11回ア

高校時代から逸材として注目され、ユース代表、五輪代表と経験も豊富な大型ＧＫ。昨季の大ケガから立ち直り、今季は完全復活。7月のガーナ戦から再び代表に加わった。

井原　正巳
Masami IHARA
■ＤＦ　■横浜マリノス　■1967年9月18日(27歳)
■182センチ／72キロ　■第14、15回W、第11回ア、A(61)

1対1の強さとカバーリングのうまさで、アジアでも高い評価を得ている守りのリーダー。筑波大3年で代表入りし、現チームでは最多代表出場回数を誇るセンターバック。

森山　佳郎
Yoshiro MORIYAMA
■ＤＦ　■サンフレッチェ広島　■1967年11月9日(26歳)
■175センチ／72キロ　■A(2)

豊富な活動量と思い切りのいい攻撃参加が認められ、7月のガーナ戦で右サイドバックとして代表デビューを飾った。明るい性格でムードメーカーとしても貴重な存在になる。

大嶽　直人
Naoto OTAKE
■ＤＦ　■横浜フリューゲルス　■1968年10月18日(25歳)
■178センチ／72キロ　■第15回W、A(6)

ディフェンスならどこでも堅実にこなし、守りのスペシャリストとして貴重な戦力。1992年8月のユベントス戦からセンターバックとしての能力を買われて代表入りしている。

名塚　善寛
Yoshihiro NATSUKA
■ＤＦ　■ベルマーレ平塚　■1969年10月7日(24歳)
■182センチ／72キロ　■第25回オ、A(4)

カバーリングがうまくクレバーな選手で、5月のキリンカップから井原とセンターバックのコンビを組む。7月のガーナとの第1戦では、ヘディングで決勝点を決めている。

秋田　豊
Yutaka AKITA
■ＤＦ　■鹿島アントラーズ　■1970年8月6日(24歳)
■179センチ／75キロ

昨季は右サイドバックで活躍したが、今季は本来のセンターバックでプレーしている。抜群の身体能力とパワーを買われて、5月のキリンカップで初めて代表入りした。

遠藤　昌浩
Masahiro ENDO
■ＤＦ　■ジュビロ磐田　■1970年8月15日(24歳)
■182センチ／80キロ　■A(3)

今季ＦＷから左サイドバックにコンバートされて頭角をあらわし、代表入りも果たしたラッキーボーイ。まだ粗削りだが運動能力が高くスピードもあり、可能性を秘めている。

名良橋　晃
Akira NARAHASHI
■ＤＦ　■ベルマーレ平塚　■1971年11月26日(22歳)
■170センチ／72キロ　■第25回オ

スピードあふれる積極果敢なオーバーラップを持ち味に、代表でも右サイドバック定着を狙う。ベルマーレのチームメートである岩本との、左右両翼からの攻撃は非常にエキサイティングだ。

今藤　幸治
Koji KONDO
■ＤＦ　■ガンバ大阪　■1972年4月28日(22歳)
■176センチ／65キロ　■A(2)

右サイドから得意のドリブル突破でチャンスをつくる若手サイドバック。両サイドからの攻撃力を重視するファルカン監督に認められ、5月のオーストラリア戦で初出場。

岩本　輝雄
Teruo IWAMOTO
■ＤＦ　■ベルマーレ平塚　■1972年5月2日(22歳)
■178センチ／70キロ　■A(4)

抜群のスピードとシュート力をもち、5月のキリンカップから代表入りした期待のレフティー。7月のガーナ戦では中盤でプレーし、第2戦では代表初ゴールも決めている。

柱谷　哲二
Tetsuji HASHIRATANI
■ＭＦ　■ヴェルディ川崎　■1964年7月15日(30歳)
■181センチ／72キロ　■第14、15回W、第24回オ、第11回ア、A(52)

ファルカン監督の信頼が厚く、新生日本代表でもリーダーシップを発揮してキャプテンを務める。体を張った闘志あふれるプレーで中盤を支え、代表に欠くことのできない存在。

浅野　哲也
Tetsuya ASANO
■ＭＦ　■浦和レッドダイヤモンズ　■1967年2月23日(27歳)
■184センチ／77キロ　■A(8)

2年ぶりに代表復帰した5月のオーストラリア戦で、25メートルのＦＫを決めて存在をアピールした大型ＭＦ。Ｊリーグ有数のキック力の持ち主で、ロングシュートの名手だ。

北澤　豪
Tsuyoshi KITAZAWA
■ＭＦ　■ヴェルディ川崎　■1968年8月10日(26歳)
■170センチ／67キロ　■第15回W、A(19)

小柄だが驚異的なスタミナを誇り、中盤でエネルギッシュに動き回って攻守に貢献するダイナモ。日本リーグ時代には得点王になったこともあり、右足のシュートは強烈だ。

森保　一
Hajime MORIYASU
■ＭＦ　■サンフレッチェ広島　■1968年8月23日(26歳)
■173センチ／62キロ　■第15回W、A(26)

1992年5月のアルゼンチン戦で代表にデビュー以来、地味ながら中盤に欠かせない守備的ＭＦの第一人者に成長。柱谷と組むダブルボランチが新生日本代表のカギを握っている。

澤登　正朗
Masaaki SAWANOBORI
■ＭＦ　■清水エスパルス　■1970年1月12日(24歳)
■170センチ／66キロ　■第15回W、第25回オ、A(7)

5月のキリンカップから代表の背番号10をつけてプレーする"ポスト・ラモス"の一番手。豊富な運動量と正確なキック力を生かしたパスでゲームを組み立てる攻撃的ＭＦ。

前園　真聖
Masakiyo MAEZONO
■ＭＦ　■横浜フリューゲルス　■1973年10月29日(20歳)
■170センチ／63キロ　■A(1)

5月のオーストラリア戦で代表デビューを果たした成長著しい若手のホープ。小柄だがスピードとパワーにあふれ、縦へ抜け出すドリブル突破を大きな武器としている。

三浦　知良
Kazuyoshi MIURA
■ＦＷ　■ジェノア(イタリア)　■1967年2月26日(27歳)
■175センチ／72キロ　■第15回W、第11回ア、A(36)

念願のセリエA入りを果たし、7月からジェノアでプレーする日本が誇るスーパースター。すばらしいテクニックと得点力を誇り、攻撃のリーダーとしてチームの先頭に立つ。

高木　琢也
Takuya TAKAGI
■ＦＷ　■サンフレッチェ広島　■1967年11月12日(26歳)
■188センチ／82キロ　■第15回W、A(29)

今季はプレーの幅が広がり勝負強さも増して、チームのＪリーグ第1ステージ優勝に貢献した大型ストライカー。7月のガーナ戦で代表復帰し、地元でのアジア大会に意欲十分だ。

黒崎　比差支
Hisashi KUROSAKI
■ＦＷ　■鹿島アントラーズ　■1968年5月8日(26歳)
■185センチ／79キロ　■第14、15回W、A(14)

8月のＪリーグ第2節で左足首を負傷したが、ゴールゲッターとして期待は大きい。空中戦とパワフルなシュートを武器とし、アントラーズでは攻撃的ＭＦとして新境地を開く。

佐藤　慶明
Yoshiaki SATO
■ＦＷ　■浦和レッドダイヤモンズ　■1969年6月19日(25歳)
■188センチ／82キロ　■A(1)

Ｊリーグ第2ステージで復活のきざしをみせる、レッズ攻撃陣の一翼を担う長身ストライカー。5月のキリンカップで代表入りし、初戦のオーストラリア戦ではスタメンで起用された。

山口　敏弘
Toshihiro YAMAGUCHI
■ＦＷ　■ガンバ大阪　■1971年11月19日(22歳)
■176センチ／70キロ　■第25回オ、A(2)

2年目のＪリーグで着実に力をつけたガンバ大阪の若きエース。右サイドでの切れ味鋭いドリブルと思い切りのいいシュート力を買われ、7月のガーナ戦で代表にデビューした。

小倉　隆史
Takafumi OGURA
■ＦＷ　■名古屋グランパスエイト　■1973年7月6日(21歳)
■181センチ／74キロ　■A(4)

柔軟なテクニックとスピードをもち、これからの日本サッカー界を背負う逸材。5月にオランダ留学から帰国してすぐに代表入りし、フランス戦では得意の左足で初得点を記録した。

城　彰二
Shoji JYO
■ＦＷ　■ジェフユナイテッド市原　■1975年6月17日(19歳)
■178センチ／72キロ

開幕から4試合連続ゴールを決めて、Ｊリーグの話題を独占したスーパールーキー。鋭い得点感覚とゴール前での勝負強さは、とても19歳と思えない、次代のエース候補だ。

AUSTRALIA NATIONAL TEAM

エディー・トムソン
Eddie THOMSON
■監督
■1947年2月25日(47歳)

ジョー・カルーソ	Joe CARUSO	■団長
ロン・スミス	Ron SMITH	■コーチ
シリ・カナンガラ	Siri KANNANGARA	■ドクター
パット・ブラウン	Pat BROWN	■物理療法士

■ポジション　■所属クラブ
■生年月日(年齢)　■身長／体重

スティーブ・モートン
Steve MAUTONE
■GK　■サウス・メルボルン
■1970年8月18日(24歳)　■185センチ／85キロ

まだ国際Aマッチの出場経験はないが、ことし6月、オーストラリアに遠征してきたACミラン(イタリア)との第2戦でベンチ入り。スポーツ大学出身で、期待の若手GKだ。

ゼリコ・カラッチ
Zeljko KALAC
■GK　■シドニー・ユナイテッド
■1972年12月16日(21歳)　■202センチ／91キロ

5月の日本戦では、負傷のザビカに代わり36分に交代出場。続くフランス戦ではパパンのPKを阻止するなど好守をみせた。昨季のリーグで最優秀GKに選ばれた長身選手。

ミラン・イバノビッチ
Milan IVANOVIC
■DF　■アデレード・シティ
■1960年12月21日(33歳)　■187センチ／80キロ

スイーパーを務め、5月のキリンカップではフル出場。かつてはレッドスター・ベオグラード(ユーゴスラビア)でプレーした。1990－91年シーズンのリーグ最優秀選手。

メフメト・ドュラコビッチ
Mehmet DURAKOVIC
■DF　■サウス・メルボルン
■1965年10月13日(28歳)　■178センチ／72キロ

タフな守りを身上とし、5月の日本戦では右サイドバックとして三浦カズをマーク。1990年のデビュー以来レギュラーを務め、次のワールドカップ予選でも不可欠の選手だ。

トニー・ビドマル
Tony VIDMAR
■DF　■アデレード・シティ
■1970年7月4日(24歳)　■187センチ／78キロ

5月にも来日して、2試合に先発出場した長身のセンターバック。2年前のバルセロナ五輪で4位になった23歳以下代表の一員で、グループリーグでは2得点を決めている。

スティーブ・ホルバト
Steve HORVAT
■DF　■メルボルン・ナイツ
■1971年3月14日(23歳)　■180センチ／80キロ

同じスイーパーのポジションにはイバノビッチがいて出番は限られているが、彼の後継者としてトムソン監督の期待も大きい。5月にも来日したが、試合には出場していない。

マシュー・ビングリー
Matthew BINGLEY
■DF　■ウォロンゴン・ウルブズ
■1971年8月16日(23歳)　■181センチ／82キロ

昨年9月、ソウルで行われた韓国戦で代表チームにデビューした。ユース代表でも活躍し、1991年のワールドユース選手権ポルトガル大会では4位入賞を果たしている。

スタン・ラザリディス
Stan LAZARIDIS
■DF　■ウエスト・アデレード
■1972年8月15日(22歳)　■180センチ／75キロ

昨年のワールドカップ予選以来、代表チームのメンバーに選ばれているディフェンダー。5月の来日時には試合出場はなかったが、今後の成長が大いに期待される若手選手だ。

ケビン・マスカット
Kevin MUSCAT
■DF　■サウス・メルボルン
■1973年8月7日(21歳)　■181センチ／75キロ

国際Aマッチの出場経験はないが、昨年3月にオーストラリアで行われたワールドユース選手権ではキャプテンを務めた。守備のリーダーとなる資質を備えた選手といわれる。

ポール・ウェード
Paul WADE
■MF　■サウス・メルボルン
■1963年3月20日(31歳)　■181センチ／72キロ

代表でもクラブでもキャプテンを務め、周囲の信頼も厚い。昨年のワールドカップ予選のアルゼンチン戦では、マラドーナをマーク。現代表では最も経験豊富なベテランだ。

アレックス・トビン
Alex TOBIN
■MF　■アデレード・シティ
■1966年4月5日(28歳)　■190センチ／80キロ

5月の来日の際にはセンターバックで起用され、堅実な守備をみせた。ワールドカップ予選でもレギュラー出場。昨季はキャプテンとして、クラブを国内選手権優勝に導いた。

ジェイソン・ポラク
Jason POLAK
■MF　■サウス・メルボルン
■1968年1月9日(26歳)　■179センチ／78キロ

ギリシャ、ベルギー、オランダのクラブでプレー経験がある。6月の南アフリカとの第2戦では、1－0の勝利に導く決勝点をゲット。ことし5月のキリンカップに来日した。

ジョン・マルコブスキ
John MARKOVSKI
■MF　■モーウェル・ファルコンズ
■1970年4月15日(24歳)　■186センチ／95キロ

バルセロナ五輪で4位に入った23歳以下代表の一員でもあり、大会では2ゴールを記録している。5月にも来日し、フランス戦の残り8分というところで交代出場した。

ダミアン・モーリ
Damien MORI
■MF　■アデレード・シティ
■1970年9月30日(23歳)　■185センチ／85キロ

昨季の国内選手権決勝で、優勝をもたらす貴重な得点をあげてヒーローとなった。バルセロナ五輪にも出場したテクニシャン。彼自身の結婚式のため、5月には来日していない。

ロス・アロイシ
Ross ALOISI
■MF　■メルボルン・ゼブラズ
■1973年4月17日(21歳)　■182センチ／73キロ

右足を生かしたテクニックで、中盤の構成にからむ若手選手。国際Aマッチへの出場経験はないが、アトランタ五輪出場を目指す23歳以下の代表でも期待を集めている。

アンテ・モリッチ
Ante MORIC
■MF　■シドニー・ユナイテッド
■1974年4月19日(20歳)　■180センチ／78キロ

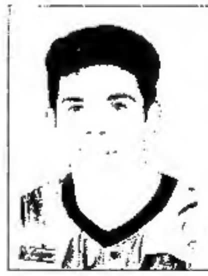
昨年3月のワールドユース選手権に出場し、現在は23歳以下の代表として五輪を目指す。非常に献身的なプレーをみせる若手で、強烈なキック力を生かしたシュートも武器。

ウォーリン・スピンク
Warren SPINK
■FW　■ニューキャッスル・ブレーカーズ
■1966年10月4日(27歳)　■170センチ／72キロ

今回の遠征ではベテランの部類に入るストライカー。代表では16試合で8得点をあげているが、2年前の6月には敵地でアメリカを1－0で破る決勝点もマークしている。

アリステア・エドワーズ
Alistair EDWARDS
■FW　■セランゴール(マレーシア)
■1968年6月21日(26歳)　■187センチ／80キロ

1987年チリでのワールドユース選手権でプレーしA代表としても14試合の出場経験があるストライカー。グラスゴー・レンジャーズに2年間所属した後、現在はマレーシアで活躍中。



スティーブ・コリカ
Steve CORICA
■FW　■マルコーニ・フェアフィールド
■1973年3月24日(21歳)　■177センチ／74キロ

スクールボーイ代表からA代表まで、すべてのランクの代表チームでプレーした経験をもつ。一昨シーズンの国内選手権に優勝し、21歳以下の最優秀選手にも選ばれている。

ガブリエル・メンデス
Gabriel MENDEZ
■FW　■パラマッタ・イーグルス
■1973年11月17日(20歳)　■166センチ／65キロ

体格に恵まれた選手の多いオーストラリアでは非常に小柄だが、すばらしいテクニックの持ち主。やはりアトランタ五輪出場を狙う23歳以下代表チームの一員でもある。

JT
すっきり、軽い。はっきり、うまい。
MILD SEVEN
スーパーライトBOX
新発売
5mg
マイルドセブン・スーパーライト・ボックス
タール5mg ニコチン0.4mg 20本入 240円
MILD SEVEN
Super Lights
未成年者の喫煙は禁じられています
あなたの健康を損なうおそれがありますので吸いすぎに注意しましょう

サポーターをサポーターするファミリーマート。
すぐお近くのファミリーマートで、サッカー観戦チケットが手に入ります。サポーターにも、とっても便利ですよ。
FamilyMart
ご近所のファミリーマートでチケットが手に入る。
これは、便利だ。
サッカーをはじめ各種スポーツの観戦、コンサート、演劇など、チケットがほしいナ、と思ったら、スグお電話を。ご予約いただいてから、約1週間以内にお近くのファミリーマートへ。ご予約の番号をお申し出いただきますと、その場で発券いたします。(関東・関西地区のみ)朝10時から夜9時まで承りますので、とっても便利です。
チケット・セゾン電話予約センター(10:00~18:00)
東京/03-5990-9999
大阪/06-308-9999
2002 World Cup Japan
NLGS17-018
2002年ワールドカップ
フレンドリークラブ入会のご案内中
ファミリーマート各店で実施中
FamilyMart で
TICKET チケット・セゾン SAISON。

JFA
OAS 760
ゲームシャツ半袖 NEW
品番 OAS 760 メーカー希望小売価格 ¥12,0
サイズ/90-4・94-5・98-6・102-7
カラー/●ホワイト●ブルー
ゲームパンツ NEW
品番 OAS 860 メーカー希望小売価格 ¥5,50
サイズ/76・80・84・90
カラー/●ホワイト●ブルー
サッカーソックス#017 NEW
品番 CFS 017 メーカー希望小売価格 ¥2,500
サイズ/25～27cm
カラー/●ホワイト●オレンジ●ブルー
OAS 860
CFS 017
新生日本代表と一緒に闘うアシックスです。
日本代表チームオフィシャルゲームウエア。
OAS 762
OAS 763
G.Kシャツ NEW
品番 OAS 762 メーカー希望小売価格 ¥15,0
サイズ/90-4・94-5・98-6・102-7
カラー/●パールグリーン
G.Kパンツ NEW
品番 OAS 862 メーカー希望小売価格 ¥7,50
サイズ/76・80・84・90
カラー/●ブラック
G.Kシャツ NEW
品番 OAS 763 メーカー希望小売価格 ¥15,0
サイズ/90-4・94-5・98-6・102-7
カラー/●オレンジ
G.Kパンツ NEW
品番 OAS 863 メーカー希望小売価格 ¥6,5
サイズ/76・80・84・90
カラー/●オレンジ
OAS 862
OAS 863
asics
OFG 082
OFG 171
JAPAN
OFG 959
●サイズ表示は
高さ×長さ×幅の順です。
OFG 960
OFG 007
THE FOOTBALL ASSOCIATION OF
JAPAN
OFG 917
OFG 191
デイパック NEW
品番 OFG 959 メーカー希望小売価格 ¥3,800
サイズ/34×29×11cm
カラー/●ブルー
韓国製
ライトバッグ NEW
品番 OFG 960 メーカー希望小売価格 ¥2,800
サイズ/43×31×13cm
カラー/●ブルー
キャップ NEW
品番 OFG 082 メーカー希望小売価格 ¥3,000
サイズ/L(57～59cm)
カラー/●ブルー
フード付カットオフシャツ NEW
品番 OFG 171 メーカー希望小売価格 ¥5,800
サイズ/M・L
カラー/●ブルー●ホワイト杢
スウェットハーフパンツ NEW
品番 OFG 191 メーカー希望小売価格 ¥6,000
サイズ/M・L・LL
カラー/●ブルー●ホワイト杢
新生日本代表に声援を送るアシックスです。
日本代表チームオフィシャルサポーターグッズ。
OFG 103
OFG 102
OFG 192
THE FOOTBALL ASSOCIATION OF
JAPAN
OFG 551
OFG 501
フェイスタオル NEW
品番 OFG 007 メーカー希望小売価格 ¥1,400
サイズ/33×85cm
カラー/●ホワイト
ミサンガ NEW
品番 OFG 917 メーカー希望小売価格 ¥600
サイズ/長さ18cm×幅1.5cm
カラー/●ブルー
Tシャツ NEW
品番 OFG 102 メーカー希望小売価格 ¥2,900
サイズ/S・M・L・LL
カラー/●ホワイト
Tシャツ NEW
品番 OFG 103 メーカー希望小売価格 ¥3,400
サイズ/S・M・L・LL
カラー/●ブルー
ハーフパンツ NEW
品番 OFG 192 メーカー希望小売価格 ¥5,400
サイズ/M・L・LL
カラー/●ブルー
ピステジャケット半袖 NEW
品番 OFG 501 メーカー希望小売価格 ¥6,200
サイズ/M・L
カラー/●ホワイト●ブルー
ピステハーフパンツ NEW
品番 OFG 551 メーカー希望小売価格 ¥4,800
サイズ/M・L
カラー/●ホワイト●ブルー
新しい日本の決意です。
左の胸のエンブレムを4年後のフランスで見るために。右の胸のアシックスも頑張る。アシック て生まれ変わった新生日本代表チーム。
株式会社アシックス
●表示価格は消費税抜きの価格です。消費税は別途申し受けます。●Ⓡは㈱アシックスの登録商標です。●商品についてのお問い合わせは株式会社アシックスお客様相談窓口までどうぞ。
スポーツあげたい。スポーツほしい。
2002 World Cup Japan
NLGS17-005 OFFICIAL SPONSOR
がんばれ!ニッポン! キャンペーン
JGS-18 OFFICIAL SPONSOR
THE 12th ASIAN GAMES HIROSHIMA 1994
HAGOC-O-116 OFFICIAL SUPPLIER

JAPAN WOMEN'S NATIONAL TEAM

●ポジション　●所属クラブ　●生年月日(年齢)　●身長／体重　●A代表試合出場数

★個人データの略号内容　W＝世界選手権(第1回中国)　ア＝アジア大会(第11回北京)

鈴木　保
Tamotsu SUZUKI
●監督
●1947年4月29日(47歳)

山本　浩靖
Hiroyasu YAMAMOTO
●コーチ
●1958年3月26日(36歳)

白旗　敏克	Toshikatsu SHIRAHATA	●ドクター
安達　淳子	Atsuko ADACHI	●マッサー
木村　千穂	Chiho KIMURA	●主務
姫田　雅祥	Masaaki HIMEDA	●エクィップマネージャー

小野寺　志保
Shiho ONODERA
●GK　●読売西友ベレーザ　●1973年11月18日(20歳)
●163センチ／50キロ
抜群の瞬発力を生かし、近い距離からのシュートへの反応がすばらしい。読売西友の正GKとして大舞台の経験が豊富で、サッカーをよく知っている。体力強化が課題。

森本　鶴
Tsuru MORIMOTO
●DF　●日興證券女子サッカー部ドリームレディース
●1970年9月11日(24歳)　●165センチ／54キロ　●A(1)
何度も代表候補になりながら、つかめなかった代表の座をついに獲得。ハードタックルと空中戦の強さが身上。8月の欧州遠征では、CKからのヘディングで2ゴールをあげた。

小澤　純子
Junko OZAWA
●GK　●TOKYO SHIDAX LSC　●1973年12月7日(20歳)
●168センチ／63キロ　●A(5)
国際試合に不可欠な体の強さが魅力。守備ラインの裏へのボールに飛び出す思い切りもいい。足での球扱いも安定しているうえ、キック力は代表の中で一番。日本女子の守護神だ。

東明　有美
Yumi TOMEI
●DF　●プリマハムFCくノ一　●1972年6月1日(22歳)
●164センチ／59キロ　●A(3)
身体的強さと運動量を買われ、FWから転向した右サイドバック。堅実な守備に加え、的確な攻撃参加が魅力。8月の欧州遠征で、オーバーラップのタイミングをつかんだ。

長江　輝美
Terumi NAGAE
●DF　●日興證券女子サッカー部ドリームレディース
●1969年10月31日(24歳)　●165センチ／58キロ　●A(1)
スピードがあって空中戦も強い。右サイドバックとセンターバックをこなし、ラインディフェンスに精通しているのも強み。安定したプレーができる頑張り屋で、貴重な戦力。

埴田　真紀
Maki HANETA
●DF　●松下電器レディースサッカークラブバンビーナ
●1972年9月30日(21歳)　●162センチ／55キロ　●A(7)
黙々と自分の仕事に打ち込むまじめな選手だが、体を張った厳しいプレーも辞さず、けっして弱音をはかない。パスのセンスも光るが、相手のエース殺しが使命だ。

黒田　今日子
Kyoko KURODA
●DF　●プリマハムFCくノ一　●1970年5月8日(24歳)
●160センチ／53キロ　●第1回W、第11回ア、A(18)
元左ウイングだけに、攻撃力は抜群の左サイドバック。昨年ひざのじん帯を痛めて、一時代表から外れていたが、地道な努力で復帰。DFの中では唯一のワールドカップ経験者。

山木　里恵
Rie YAMAKI
●DF　●日興證券女子サッカー部ドリームレディース
●1975年10月2日(18歳)　●163センチ／55キロ　●A(5)
18歳の若さながら、天性のリーダーシップで守備ラインを統率するセンターバック。体を張った守りが特徴で、ヘッドも強い。負けん気の強さと、確実なボール扱いも魅力。

木岡　二葉
Futaba KIOKA
●MF　●鈴与清水FCラブリーレディース　●1965年11月22日(28歳)
●162センチ／50キロ　●第1回W、第11回ア、A(57)
1981年の日本女子代表創設時から参加している大ベテランだが、運動量はまったく落ちず、テクニックにはますます磨きがかかった。とくに右足のFKは、日本の大きな得点源だ。

半田　悦子
Etsuko HANDA
●FW　●鈴与清水FCラブリーレディース　●1965年5月10日(29歳)
●160センチ／50キロ　●第1回W、第11回ア、A(57)
木岡と同期のベテランだが、やはり衰えを知らない。スピードあふれるドリブル突破が最大の魅力。左サイドのFW、もしくは左MFとして、ゴールにからむプレーを期待。

高倉　麻子
Asako TAKAKURA
●MF　●読売西友ベレーザ　●1968年4月19日(26歳)
●163センチ／51キロ　●第1回W、第11回ア、A(49)
センスの良さ、テクニックの確かさを生かし、守備的MFの位置から攻撃を組み立てる。読売西友と鈴与清水勢が主力となっている女子代表攻撃陣のキーウーマン。

長峯　かおり
Kaori NAGAMINE
●FW　●鈴与清水FCラブリーレディース　●1968年6月3日(26歳)
●160センチ／55キロ　●第1回W、第11回ア、A(54)
イタリアで1年半の修行を積んできたベテラン。体を張ったプレーでのゴールと的確なポストプレーが魅力で、欧州遠征では5得点をマーク。サッカーにかける情熱は人一倍。

野田　朱美
Akemi NODA
●MF　●読売西友ベレーザ　●1969年10月13日(24歳)
●165センチ／55キロ　●第1回W、第11回ア、A(52)
これまでのスイーパーから攻撃的MF、もしくはFWに転向。体の強さを生かしてのポストプレーなどに期待。相手DFと激しく競り合いながらのシュートは迫力十分だ。

武岡イネス恵美子
Emiko Ines TAKEOKA
●FW　●日興證券女子サッカー部ドリームレディース
●1971年1月5日(23歳)　●164センチ／56キロ　●A(1)
母親がドイツ人。身体的にはもちろん、精神的にも強く、強い相手にも臆さない。守備力もあるため、代表では右MFでの起用も。8月の欧州遠征で初の代表入り。

門原　かおる
Kaoru KADOHARA
●MF　●松下電器レディースサッカークラブバンビーナ
●1970年5月25日(24歳)　●154センチ／52キロ　●A(5)
地味な仕事でも黙々とこなす守備的MFで、男子でいえば森保タイプ。守備ラインからのボールを確実に前線につなぎ、攻撃の起点にもなれる選手。課題はシュート力。

内山　環
Tamaki UCHIYAMA
●FW　●プリマハムFCくノ一　●1972年12月13日(21歳)
●157センチ／59キロ　●第1回W、A(7)
ひざの故障で昨年を棒に振った。8月の欧州遠征前はランニングが少しできる程度だったが、リハビリの成果で最終戦はフル出場した頑張り屋。強烈なシュートが武器。

澤　穂希
Homare SAWA
●MF　●読売西友ベレーザ　●1978年9月6日(16歳)
●163センチ／57キロ　●A(5)
スピードがあって得点力もあり、ドリブルもすばらしい期待の若手。国際経験さえ積んでいけば、必ず次代の女子代表のエースになる可能性をもつ。性格は負けず嫌い。

大竹　奈美
Nami OTAKE
●FW　●読売西友ベレーザ　●1974年7月30日(20歳)
●166センチ／56キロ　●A(1)
重心の低いドリブルで、激しいタックルも突破。シュート力も磨きがかかり、8月の欧州遠征ではチーム1の6得点。好不調の波をなくせば、さらに成長が期待できる。

AUSTRALIA

WOMEN'S NATIONAL TEAM

●ポジション ●所属クラブ
●生年月日(年齢) ●身長／体重

トム・セルマニ
Tom SERMANNI
●監督
●1954年7月1日(40歳)

ケリー・ハリス	Kerry HARRIS	●リーダー
コニー・セルビー	Connie SELBY	●コーチ
ミシェル・ソーヤーズ	Micelle SAWYERS	●主務
エド・ホリス	Ed HOLLIS	●物理療法士

トレイシ・バートレット
TRACI Bartlett
●DF ●マルコーニ
●1972年5月17日(22歳) ●168センチ／65キロ

第1回世界選手権の予選を前に、ユース代表から抜てきされたストッパー。その予選では期待に応えるプレーをみせ、以来代表での地位を確固たるものにしている。

ジュリー・マレー
JULIE Murray
●MF ●シドニー・オリンピック
●1970年4月28日(24歳) ●164センチ／57キロ

15歳で国際試合にデビュー以来、代表の中心的存在となっているキャプテン。デンマークのクラブでも2年間、プレーした。現在はオーストラリアサッカー協会に勤務している。

リサ・ダン
LISA Dunne
●FW ●アダムスタウン
●1967年10月26日(26歳) ●173センチ／64キロ

1984年のチャイニーズタイペイ遠征で代表チームにデビューしたというベテラン。その後しばしば負傷に悩まされたが、いまも元気に代表でのポジション争いを続けている。

トレイシー・ウィーラー
TRACEY Wheeler
●GK ●フォレストフィールド・ユナイテッド
●1967年9月29日(26歳) ●176センチ／69キロ

運動能力の高さを生かしたゴールキーピングにすぐれ、オーストラリアではトップクラスにランクされるGK。代表チームでは1987年からプレーしている。本業は物理療法士。

ブリジット・スター
BRIDGETTE Starr
●DF ●ハンター・ディストリクト
●1975年12月10日(18歳) ●170センチ／62キロ

敢闘精神旺盛なプレーヤーで、サイドバックとしてだけでなく、中盤で起用されることもある。2年前の国内選手権とユース選手権で活躍し、代表チームから声がかかった。

サシャ・ウェインライト
SACHA Wainwright
●MF ●ウェストン・クリーク
●1972年2月6日(22歳) ●168センチ／56キロ

国内では選手権に3回、ユース選手権に4回の優勝歴をもち、1992年から代表チームに入っている。現在は大学生で、ユニバーシアード大会にも参加している。

リンダ・ヒューズ
LINDA HUGHES
●FW ●アダムスタウン
●1968年6月9日(26歳) ●172センチ／60キロ

非常にダイナミックなプレーをみせるストライカーで、重要なゴールを決めることも多い。1989年に代表デビューを飾り、デンマークのクラブでプレーした経験もある。

クレール・ニコルス
CLAIRE Nichols
●GK ●クイーンズランド・スポーツアカデミー
●1975年7月8日(19歳) ●170センチ／84キロ

代表チームで初めてプレーしたのは1989年12月、日本への遠征のときで、まだ14歳という年齢だった。その後、ユース代表などでも活躍し、若いが国際経験は十分積んでいる。

カイリーン・ジャンセン
KAYLENE Janssen
●MF ●コールスターズ
●1968年8月18日(26歳) ●166センチ／59キロ

卓越した判断力とテクニックをもったミッドフィルダー。11歳のときからサッカーに親しみ、州と国のレベルでジュニア、ユース、そしてA代表に選ばれた実績をもつ。

シェリル・ソールズベリー
CHERYL Salisbury
●MF ●アダムスタウン
●1974年3月8日(20歳) ●174センチ／66キロ

長身の存在感あふれるミッドフィルダーで、ディフェンダーとしても中心になれる選手。代表チームでのキャリアはまだ2年間しかないが、彼女に対する評価は高い。

カーリー・パンパ
KARLY Pumpa
●FW ●キャンベラ・シティ
●1975年3月27日(19歳) ●172センチ／61キロ

来年の世界選手権出場を目指すうえで、大きな期待を寄せられているストライカー。ことしに入って代表チーム入りし、欧州遠征では6ゴールをあげる活躍をみせた。

アニッサ・タン
ANISSA Tann
●DF ●マルコーニ
●1967年10月10日(26歳) ●174センチ／69キロ

代表の副キャプテンを務めるスイーパー。ニューサウスウェールズ州代表のコーチ経験もあり、現在は同州のアマチュア協会でサッカー振興のための仕事に従事している。

サラー・クーパー
SARAH Cooper
●MF ●ミンディル・エースズ
●1969年10月8日(24歳) ●172センチ／57キロ

才能あふれるプレーヤーで、中盤の右サイドを担当することが多い。ジュニア代表、ユース代表を経験後、1987年にA代表入りを果たし、トップレベルで実力を発揮している。

トレナ・ヤングブラット
TRENA Youngblutt
●MF ●マルコーニ
●1977年4月27日(17歳) ●164センチ／54キロ

今回の代表チームでは最年少だが、このところ急速に力をつけてきているプレーヤー。豊富な運動量と巧みなボール技術を備え、中盤ですばらしい活躍をみせている。

ミシェル・ワトソン
MICHELLE Watson
●FW ●マルコーニ
●1976年6月17日(18歳) ●165センチ／57キロ

すばらしいボールテクニックとスピードを武器にする期待のプレーヤー。ジュニア代表、ユース代表と階段を上り、次の目標はもちろん代表チームでのデビューだ。

ソニア・ゲーゲンフーバー
SONIA Gegenhuber
●DF ●コールスターズ
●1970年9月28日(23歳) ●169センチ／62キロ

体力的にも技術的にも高いレベルにあり、サイドバックから中盤のゲームメーカーまで務める有効な選手。1989年に国際舞台に登場以来、チームの中心的存在となっている。

デニー・ペンタコスト
DENIE Pentecost
●MF ●シドニー・オリンピック
●1970年4月23日(24歳) ●165センチ／62キロ

1987年にユース代表入りして期待を集めたが、その後負傷に悩まされた時期もあった。現在はそれを克服し、ミッドフィルダーとしてチームに不可欠の存在となった。

選手名		ポジション	生年月日(年齢)	身長(センチ)	体重(キロ)	所属チーム
アマンダ・パターソン	AMANDA Paterson	GK	1974年4月24日(20歳)	171	59	マルコーニ
ジェーン・オークリー	JANE Oakley	MF	1966年6月25日(28歳)	174	64	バーウィック・シティ
イベット・ジェイガー	YVETTE Jaegar	FW	1971年2月5日(23歳)	174	68	マルコーニ
ミシェル・プルーテン	MICHELLE Prouten	FW	1974年10月9日(19歳)	170	72	シドニー・オリンピック
リサ・カサグランデ	LISA Casagrande	FW	1978年5月29日(16歳)	167	54	グーネラバー

もう一度熱くさせてくれ!!
日本代表, 新たなる発進!!
JFA
財団法人 日本サッカー協会
オフィシャルビデオ
日本代表
FIFAワールドカップ'94
アジア地区最終予選
世界に最も近づいた日
日本全国が一喜一憂したあの一瞬一瞬……。列島を熱狂の渦へと巻き込んだ全5試合を収録！そして、イラクとの最終戦は……。
●ゲスト：柱谷哲二主将
VHS●PCVG-10061
60分 ¥3,800(税込)
第5回アジア・アフリカ
サッカー選手権
栄光のアジア・アフリカチャンピオン
'94年ワールドカップ・アジア地区最終予選直前、延長戦の末、コートジボアールを下し2大陸間の王座を手にした日本代表。その瞬間に史上最強の日本代表チームが誕生した。
VHS●PCVG-10060
120分 ¥3,800(税込)
FIFAワールドカップUSA'94
アジア地区第1次予選突破全記録
ワールドカップへの道
強敵UAEを遂に撃破!
'94ワールドカップUSAへの偉大なる一歩。
1次予選突破の全ドキュメント。全8試合収録。
VHS●PCVG-10042
60分 ¥3,800(税込)
第10回アジアカップ
サッカー選手権決勝大会
栄光への軌跡
アジア・アフリカ選手権進出をかけての死闘全試合を収録。'92アジアカップにおける日本代表のすべてをこの1本に凝縮！
VHS●PCVG-10014
60分 ¥3,800(税込)
LD●PCLG-00004
60分 ¥3,800(税込)
FIFAワールドカップ '94
アジア地区最終予選第4戦
韓国戦・涙の初勝利
ワールドカップ'94アジア地区最終予選の第4戦で日本代表は〈宿敵・韓国〉と対戦。引き分けか負けなら脱落。勝てば夢に近づく大事な一戦で、日本代表は最高の戦いを見せた！選手のインタヴューも収録した必見ビデオ!
VHS●PCVG-10065
63分 ¥3,800(税込)
FIFAワールドカップ '94
アジア地区最終予選第5戦
イラク戦・17秒の伝説
その時、5,000万人以上の日本国民が絶句し悔し涙を流した。しかし、その熱い想いはやがて賞賛となり、サッカーへの愛情へと変わっていった……。サッカーの醍醐味を存分に味わえる、メモリアル保存版ビデオだ！
VHS●PCVG-10066
72分 ¥3,800(税込)
FIFAワールドカップ '94
アジア地区予選
ファインプレー & 全ゴール集
ワールドカップ'94アジア地区予選、第一次&最終予選を通じ最強の日本代表戦士が繰り出す怒涛の全35ゴールとファインプレーはまさに圧巻！
歓声と音楽と実況にのせたサッカーファン最強のBGVだ！
VHS●PCVG-10064
48分 ¥2,900(税込)
キリンカップサッカー '94
VS フランス代表/オーストラリア代表
W杯最終予選後、ファルカン新監督を迎え、年後のW杯を目指しメンバーを一新、初のFIFA公認国際Aマッチ "キリンカップ" でフランス、オーストラリアに挑む日本代表！再起に燃える3チームの激突と、あらたなスタートをきった日本代表の姿を合宿での貴重な映像を交えて送る永久保存版!
VHS●PCVG-10112
60分 ¥3,800(税込)
10·21 発売
KIRIN CUP SOCCER'94
11·18 発売予定 アシックスカップサッカー'94 日本代表 VS ガーナ代表
VHS●PCVG-10120／60分／¥3,800 (税込)
12·16 発売予定 アジア大会壮行試合 日本代表 VS オーストラリア代表
VHS●60分／¥3,800 (税込)
来春 発売予定 日本代表 アジア大会 オフィシャルビデオ
CD NOW ON SALE
(財) 日本サッカー協会公認
'93 日本代表オフィシャル応援歌
WE ARE THE CHAMP
THE NAME OF THE GAME
Song by:THE WAVES
(財) 日本サッカー協会公認
'94 日本代表オフィシャル応援歌
CORAGGIO! NIPPON
Song by:THE WAVES
ビデオ発売元：電通／ポニーキャニオン　商品に関するお問い合わせはポニーキャニオン ☎03-3556-6770
PONY CANYON

2002 World Cup Japan
NLGS-002
凶 器 か も し れ な い。
PREDATOR
その名は『プレデター＝略奪者』。まるで鮫の歯を思わせる「フィン＋ジェット構造」のコンピューターデザイン・アッパー。その戦慄の新性能はボールスピードを10%、ボールコントロール性を10%、さらにはボールのカーブ率を20%アップさせる。敵はあらゆる予想の裏をかかれて易々とゴールを許す以外に方法を知らない。きっとワールドカップUSA94は、この「凶器」の噂で持ちきりになるはずだ。またもし、君が幸運にもその一足を手に入れることができ、シュートのチャンスに恵まれたとしたら、君のチームメートもライバルたちも、また君のサポーターたちも、ほとんど恐怖に近い感動を生まれて初めて知ることになるだろう。
3本線はアディダスの登録商標です。
WorldCupUSA94
adidas
アディダスは、マーケティングパートナー、またオフィシャルアウトフィッターとして、ワールドカップUSA'94を応援しています。
発売元/株式会社デサント お問合わせ先 東京03(3817)0642・大阪06(774)0351

JAPAN NATIONAL TEAM 日本代表チーム

協会創立 1921年
協会住所 〒150 東京都渋谷区道玄坂1 10-7 五島育英会ビル2階 財団法人 日本サッカー協会
代表監督 パウロ・ロベルト・ファルカン
ユニホーム 青シャツ、白パンツ 青ストッキング
主要大会成績 オリンピック3位1回(1968年メキシコ大会)
アジアカップ優勝1回(1992年)
アジア大会3位2回(1950、1966年)
ダイナスティカップ優勝1回(1992年)

7月のガーナ戦に臨んだ日本代表チーム

ワールドカップ・アメリカ大会の熱気が太平洋を越え、2年目のJリーグが全国でファンの心を確実にとらえている1994年。日本代表チームにとって、ことし最大の目標であるアジア大会が、いよいよ目前に迫ってきた。

広島で行われるこの大会において、開催国の日本は当然、優勝候補の一つにランクされている。2年前、同じく広島で開かれたアジアカップで初優勝を飾り、アジアチャンピオンのタイトルを保持しているからだ。また、昨年のワールドカップ最終予選での戦いぶりも、ライバルたちに強い印象を残している。アメリカでの本大会に出場することになるサウジアラビアと引き分け(0－0)、韓国にはすばらしいプレーをみせて、歴史的ともいえる勝利(1－0)を記録した。

こうした実績を残している最近の日本だけに、対戦相手から十分に警戒されることは容易に想像がつく。どのチームも慎重に日本の出方をうかがい、厳しいマークで自由を奪いにくるだろう。わずかなスキでも見逃さない試合巧者も揃っている。このプレッシャーに打ち勝って、チームはまた一歩、レベルアップという階段を上ることになるわけだ。

そしてことし3月、この重要な仕事を任された指揮官が、ブラジル人のファルカン監督だった。選手時代にはジーコ、ソクラテスらとともに1980年代前半、ブラジル代表の中盤で活躍した、インテリジェンスあふれるスーパースター。同代表チームの監督を務めたこともあり、トップレベルでの経験は十分だ。

来日後、さっそくJリーグの試合を中心に精力的な選手チェックを開始したファルカン監督は、5月下旬のキリンカップでチームを披露した。5月22日、広島でのオーストラリア戦に登場したメンバーには、この試合で初めて代表チームのユニホームを着ることになった選手が、今藤、名塚、岩本、前園、佐藤、そして交代で出場した小倉と6人もいた。さらに1週間後のフランス戦では、本並、遠藤のふたりが代表にデビューした。キリンカップに続く7月のアシックスカップでは、山口、森山にも初登場の機会をつくった。

アジア大会までの時間は限られていたが、経験の浅い選手を実戦で積極的にトライしたところに、ファルカン監督の意欲を感じることができた。もちろん、攻撃の三浦知、中盤の柱谷、守備の井原と、それぞれのポジションに軸となる選手を配置したことで、チームに安定感を与えることも忘れてはいない。

しかし、チャレンジには困難がつきまとうことも事実。オーストラリアとの試合では、浅野が先制したにもかかわらず、浅い守備ラインの裏側を突かれて同点とされ、1－1の引き分け。次のフランス戦では、ワールドクラスの実力を痛感させられ、1－4の完敗を喫した。

ファルカン監督にようやく初勝利がプレゼントされたのは、アシックスカップでのガーナ戦だった。名古屋での初戦、若いガーナに先手を奪われた日本だが、三浦知の2ゴールなどで3－2と逆転勝ちした。だが監督は、「修正すべき点がまだ多い。守備、中盤、攻撃、すべての面においてだ」と、厳しい感想を述べていた。

神戸での第2戦、日本は2－1と連勝。そしてファルカン監督も、自らがつくり上げてきたチームに手応えを感じとったようだ。「中盤におけるマーク、DF陣の攻撃参加などがスムーズに行われていた。連係プレーなど細かい点に課題はあるが、強化期間が短かったわりにはうまくいったのではないか」という談話に、それが表れている。

この時点で日本代表は、アジア大会に臨むチームの基本の「一歩手前の段階には達した」(ファルカン監督)という。Jリーグの激しい連戦の合間をぬっての強化合宿、そして試合。代表候補にあげられた選手のうち、負傷のために監督が起用をあきらめなければならない者もいたはずだ。しかし、こうした厳しい状況のもとでも、当面の最終目標であるアジア大会に向けて、チームは着実に前進を続けてきたのである。

オーストラリアを迎えての一戦は、これまでの歩みを実戦で再確認する最後の舞台だ。アジア大会の初戦に最高のムードで臨むためにも、この試合の内容、勝敗はおろそかにできない。相手は体格にすぐれ、パワーには自信をもつが、日本も持ち前の組織力と技術でファンの期待に応えてほしいものだ。

1994年の国際試合成績

5月22日　広島　観衆27,350人
1－1　オーストラリア
〔日本の得点者〕浅野
〔日本のメンバー〕GK前川　DF今藤、井原、名塚、岩本　MF柱谷、浅野(83分、森保)、前園(30分、長谷川)、澤登　FW佐藤(45分、小倉)、三浦知

5月29日　東京　観衆48,841人
1－4　フランス
〔得点者〕小倉
〔メンバー〕GK前川(45分、本並)　DF今藤、井原、名塚、岩本(68分、遠藤)　MF柱谷、浅野(56分、森保)、澤登　FW長谷川(45分、小倉)、黒崎、三浦知

7月8日　名古屋　観衆20,933人
3－2　ガーナ
〔得点者〕三浦知②、名塚
〔メンバー〕GK本並　DF森山、井原、名塚、遠藤　MF柱谷、森保、岩本　FW山口、小倉(61分、北澤)、三浦知

7月14日　神戸　観衆39,107人
2－1　ガーナ
〔得点者〕岩本、三浦知
〔メンバー〕GK本並　DF森山、井原、名塚、遠藤　MF柱谷、森保、岩本(70分、浅野)　FW山口(75分、高木)、小倉(45分、北澤)、三浦知

JAPAN WOMEN'S NATIONAL TEAM 日本女子代表チーム

代表監督 鈴木 保
ユニホーム 青シャツ、白パンツ、青ストッキング
主要大会成績 世界選手権出場1回(1991年)
アジア大会2位1回(1990年)
アジア選手権2位2回(1986、1991年)　3位2回(1989、1993年)

8月の欧州遠征を前にリストアップされた選手たち。

アジア大会の女子サッカーは、前回の北京大会から正式種目となった。日本はその大会で銀メダルを獲得したが、10月の広島での大会には来年の世界選手権出場、そして1996年アトランタ五輪出場の夢がかかっている。

女子の世界選手権は1991年、中国に12チームを集めて行われたのが第1回大会。アジアからは開催国の中国の他に2カ国が出場したが、日本もその仲間入りを果たした。

だが、アジアの中ではトップクラスにあげられる日本も、世界の壁の高さを思い知らされる。ブラジルとの初戦を不可解な判定で0－1と落とした後、スウェーデン(3位)に0－8、アメリカ(優勝)に0－3と完敗してグループリーグ敗退。出場12カ国のランク中12位という成績だった。

プレー内容でも、世界の一流とはまだまだ開きがあることを痛感させられた。しかし世界選手権出場は、日本の女子選手たちに大きな目標を提供した。また欧米勢のスピード、パワーを、実際に肌で感じることができたのも収穫。世界に追いつくためには、何が必要なのか――その後の強化方針を立てるうえでも、貴重な体験となったことは間違いない。

男子のワールドカップと同じく、4年に1度のサイクルでめぐってくる世界選手権。その第2回大会は来年6月5日から18日まで、スウェーデンの5都市で開かれる。もちろん連続出場を目指す日本だが、その資格を得るためには、広島で開かれるアジア大会で好成績を収めなければならない。

というのも、このアジア大会と、昨年12月にマレーシアで行われた第9回アジア選手権の成績をもとに、世界選手権に出場する2カ国が決められることになったからだ(この2カ国に次ぐ3番目のチームはオセアニア代表とのプレーオフ)。

さらに、この世界選手権での戦いぶりは、正式種目として認められた1996年アトランタ五輪への出場権獲得にも、大きくかかわってくる。アトランタ五輪は予選を行わず、世界選手権スウェーデン大会の上位8チームに、出場資格が与えられるのである。

第9回アジア選手権で、日本は3位だった。準決勝でアジアナンバーワンの中国に1－3と敗れ、3位決定戦でチャイニーズタイペイを3－0で下した結果である。

日本としては、今回のアジア大会にアジア選手権2位の北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)が参加していないこともあり、4年前の大会以上の成績を収めたいところだ。その成績とは、北京大会での銀メダル獲得という快挙である。過去、一度も勝ったことのなかったチャイニーズタイペイに3－1と快勝するなど、この大会で得た自信が、翌年の世界選手権出場へ結びついたともいえる。

アジア地域の場合、実力的には中国が他を引き離している。これに続くのが日本、北朝鮮、チャイニーズタイペイといったところ。アジアの頂点を目指すには、どうしても中国を破らなければならないが、日本との差は徐徐に縮まってきた。北京アジア大会、第8回アジア選手権ではともに0－5と大敗した相手だが、昨年12月のアジア選手権準決勝では、先制点を奪う健闘をみせている。

アジア大会に向けて日本は、国際経験、ヘディングの強化、長いキックの正確性などをテーマに、レベルアップを図ってきた。そして8月には、代表候補選手24人による欧州遠征を実施。どの選手もアジア大会のエントリーメンバー18人の枠に入ろうと必死で、スロバキアの国際トーナメントでは3戦全勝で優勝を飾るという成果にも結びついた。

1979年に日本女子サッカー連盟が設立され、全国大会も開かれるようになった日本の女子サッカー。以来、その普及とレベルアップは目覚ましく、1989年には日本サッカー協会に第5種委員会が生まれ、さらに発展の道が開かれることになる。そして同年には、ついに日本女子サッカーリーグが産声を上げるまでになった。

スピードやパワーといった点を男子と比較することはできないが、日本の女子サッカーは技術的に高く、見る者を思わず引き込むパスワークも披露してくれる。アジア大会でも地元の期待を背に、優勝を狙ってくれるだろう。ボールを蹴る女性の数は、年代に関係なく増えており、女子サッカーに対する認識は高まる一方。この日本女子代表の活躍が、さらにその人気に火をつけてくれそうだ。

1994年の国際試合成績

8月20日　ドブニッツァ(スロバキア)
2－0　スロバキア
〔日本の得点者〕澤、大竹
〔日本のメンバー〕GK小澤　DF東明、黒田、山木、埴田　MF木岡、高倉、澤、野田　FW半田、大竹

8月21日　ドブニッツァ
1－0　オーストリア
〔得点者〕森本鶴
〔メンバー〕GK坂田　DF長江、伏見、森本鶴、埴田(森本佑)　MF武岡(内山)、長峯、高嶋　FW水間、田原(高倉)、門原

(財)日本サッカー協会公認

日本代表 オフィシャルグッズ カタログ

A パジャマ／肌着

●日本代表パジャマ　選手ユニフォームタイプ
100cm～120cm　¥6,800
130cm～150cm　¥7,300
M(レディースM, L(メンズM～L)　¥8,800
●日本代表パジャマ　キーパーユニフォームタイプ
130cm～150cm　¥8,300
M(レディースM) L(メンズM～L)　¥8,800
●トランクス
100cm～120cm　¥1,500
130cm～150cm　¥1,600
M(メンズM) L(メンズL)　¥1,800

B ゲーム／ジグソーパズル

●日本代表人形　つかぬ丸　¥980
●がんばれ日本代表　ドームサッカーJr　¥1,200
●日本代表カードサッカー　スーパーイレブン　¥1,500
●燃えろ！ジャパンイレブン　¥1,800
●ジグソーパズル オーレ！ニッポン(500ピース)
サイズ　51.5cm×72.8cm　¥3,000

C サンダル

●メンズサンダル
(紺・白・緑　25cm～28cm)　¥1,700
●ジュニアサンダル
(紺・白・緑　21cm～24cm)　¥1,500

D クッション／タペストリー／マット

●背当クッション
(青・緑46cm×46cm)　¥2,500
●シートクッション
(青・緑46cm×46cm)　¥1,600
●タペストリー（75cm×60cm）　¥3,000
●バスマット（45cm×70cm）　¥2,800

E カレンダー

●サッカー日本代表チームカレンダー
（1994年カレンダー　サイズB2）　¥800

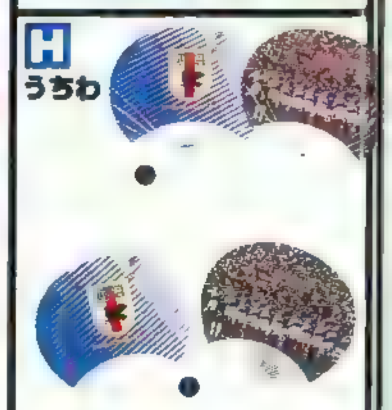
F 文房具

●缶入り色鉛筆12色　¥800
●紙箱入り鉛筆HB　¥600
●下敷き　¥200
●消しゴム　¥200
●クロスメモ　¥150
●マグネット筆入れ　¥1,500

G ぬいぐるみ

●キャプテンタロー（L　26cm）　¥3,000
●キャプテンタロー（M　18cm）　¥2,200

H うちわ



●コールファンうちわ（音声入りうちわ）　¥1,200
●うちわ　¥300

I レインコート

●...コート
(... 150～160cm)　¥1,280
(... 160～170cm)　¥1,280
(...20 170～180cm)　¥1,280

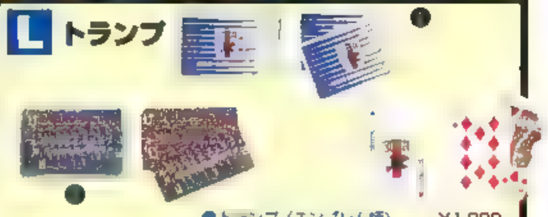
J 紙袋

●タテ型紙袋　¥450
●ヨコ型紙袋　¥450

K ライター

●プリオ（使い捨てライター）黒・白　¥200
●アメリカンジッポー　¥6,500

L トランプ

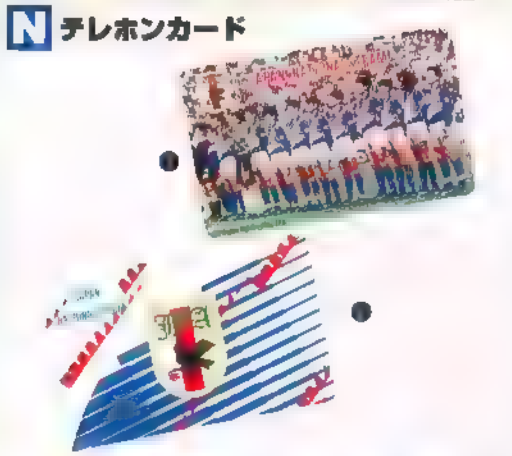


●トランプ（エンブレム柄）　¥1,000
●トランプ（写真柄）　¥1,000

M お菓子

●...チームスナックチョコレート　¥100
●...ームプレッツェル　¥100
●...ームキャンディ　¥180
●...ームソフトキャンディ　¥100
●ナショナルチームガム　¥100
●サポーターキャンデー（キーホルダー付）　¥100
●サポーターグッズ（サポーターグッズ付）　¥200

N テレホンカード



●テレホンカード　イレブン　（50度数）　¥1,000
●テレホンカード　エンブレム（50度数）　¥1,000

O アクセサリー

●ユニフォームシリーズペンダント（ホーム）　¥8,800
●ユニフォームシリーズピンブローチ（アウェイ）　¥9,800
●ユニフォームシリーズキーホルダー（ホーム）　¥8,800
●エンブレムシリーズキーホルダー　¥3,800
●エンブレムシリーズピンズ　¥2,500
●ブレスレット　¥5,800

オフィシャルグッズ お問い合わせ先 リスト

A 株式会社ワコール
お客様相談室
☎03-3239-1243

B 株式会社エポック社
お客様サービスセンター
☎03-3843-8816

C 株式会社エコー
☎054-281-7131

D タキヒヨー株式会社
インテリア部　担当：藤本
☎052-202-5860

E 株式会社ムービック
☎03-3972-1222

F コーリン鉛筆株式会社
営業本部　商品企画課
☎03-3695-2111

G 浦山商事株式会社
担当：金子
☎03-3658-1236

H 四国団扇株式会社
☎03-5250-4591

I ヒラノ産業株式会社
☎03-3814-8701

J マツシロ株式会社
☎0729-62-1431

K 株式会社春山商事
☎03-3832-6196

L エンゼル商事株式会社
☎06-744-0123

M カバヤ食品株式会社
商品部　担当：渡辺
☎08672-4-4310

N 株式会社NTTテレカ
キャラクター商品係
☎03-5322-2113

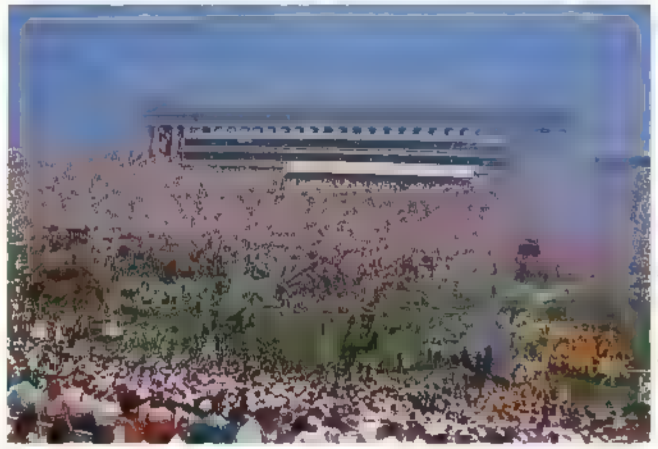
O 株式会社第一ディスプレイ製作所
Jリーグ宝飾事業部
☎03-3836-2211

※紹介の商品は一部です。その他、楽しいグッズが各種あります。　お買い求めは全国有名デパート・スーパー・コンビニエンスストアで。

※表示価格はメーカー希望小売価格です。また消費税及び送料等は含まれておりません。

“2002年の鼓動”

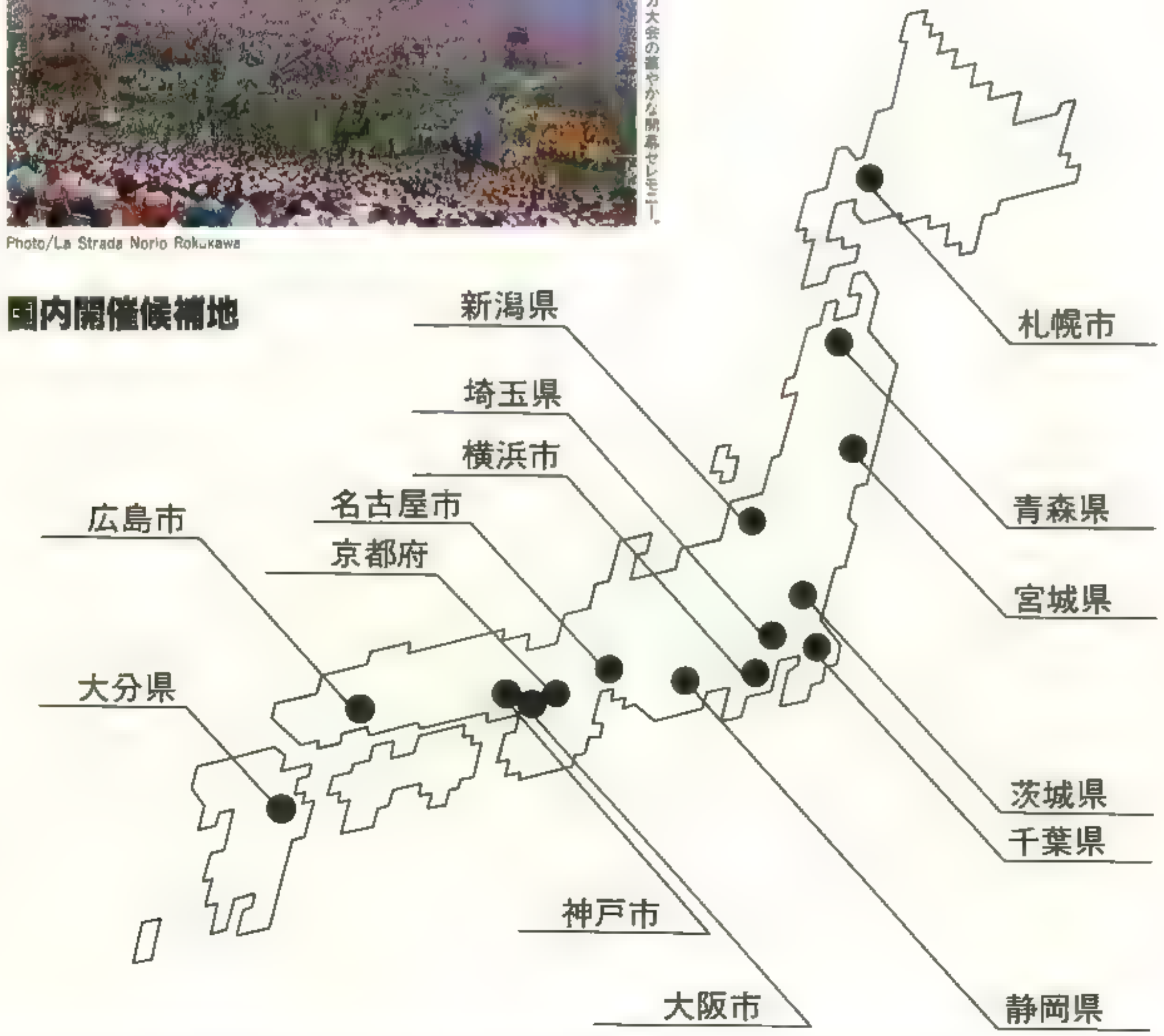
「2002年ワールドカップ日本開催」は、もはや“夢”ではありません。広島アジア大会を成功させることは、その実現に大きくまた一歩近づくことになります。地上最大のイベントであるワールドカップの招致は、単にサッカーファンだけの問題にとどまらず、招致に対する理解と支援を得た国民世論を形成しなければならない大事業です。これまで国内外でさまざまな招致のための基盤づくりを行ってきましたが、これからいよいよ正念場を迎えることになります。来年2月にはＦＩＦＡ（国際サッカー連盟）が開催のための条件提示を行い、来年秋までにＦＩＦＡに対し正式に立候補の申請を提出することが前提となります。そして2年後の1996年6月のＦＩＦＡの総会でその開催国が決まります。その運命を左右するポイントは、やはり国民世論の盛り上がりにかかっています。広島アジア大会を契機として、あなたも世論を盛り上げるためのひとりになって、“2002年の鼓動”を感じてみませんか。



ワールドカップ・アメリカ大会の華やかな開幕セレモニー。

Photo/La Strada Norio Rokukawa

国内開催候補地



2002年ワールドカップ』日本招致活動に関する主な歩み

9年11月　「2002年ワールドカップ」の開催国として立候補を表明。
990年10月　「2002年ワールドカップ招致準備事務局」発足。
1年2月　日本サッカー協会に「ワールドカップ委員会」発足。
6月　「2002年ワールドカップ招致委員会」発足。
7月　第1回招致委員会レセプション開催。（於：都内ホテル）
1992年3月　「2002年ワールドカップ国会議員招致委員会」発足。
5月　第2回招致委員会レセプション開催。（於：都内ホテル）
993年1月　※「2002年ワールドカップ」国内開催候補地15自治体（会場）が決定。
5月　第3回招致委員会レセプション開催。（於：都内ホテル）
※「2002年ワールドカップ招致フレンドリークラブ」発足。
7月　国内開催候補地15自治体に「2002年ワールドカップ招致委員会および事務局」発足。
※「ワールドカップ展」を国内開催候補地と東京を結んだ全国16会場で開催。（～12月）
8月　第2回U-17世界選手権開催。（於：神戸他6会場）
1994年3月　アフリカサッカー連盟の協力のもと、招致委員会のアドバイザーであるボビー・チャールトン氏を指導者にコーチングスクールを開催。（於：チュニジア）
5月　第4回招致委員会レセプション開催。（於：都内ホテル）
6月　※ワールドカップ'94・アメリカ大会において招致活動を展開。（～7月）
9月　「2002年ワールドカップ・シンポジウム」開催予定〈30日〉。（於：パシフィコ横浜　国立横浜国際会議場）

【注】※は別記参照。

USA'94でも積極的に招致活動を展開

今夏のワールドカップ'94・アメリカ大会において「2002年ワールドカップ招致委員会」では、シカゴ、ダラス、ロサンゼルスで広報ブースを開設、ダラス、ロサンゼルスではワールドカップ関係者との懇親パーティーも開催するなど日本のＰＲを積極的に展開しました。財団法人 日本サッカー協会の長沼会長と招致委員会の石原会長は文部大臣親書を携え、アメリカ滞在中のアベランジェＦＩＦＡ会長、カニェド同副会長を訪ねるなど外交活動も精力的にこなし帰国しました。

ワールドカップの行われたアメリカで、積極的に日本サッカーをPR。

Photos/La Strada Norio Rokukawa（上下とも）

ワールドカップ展

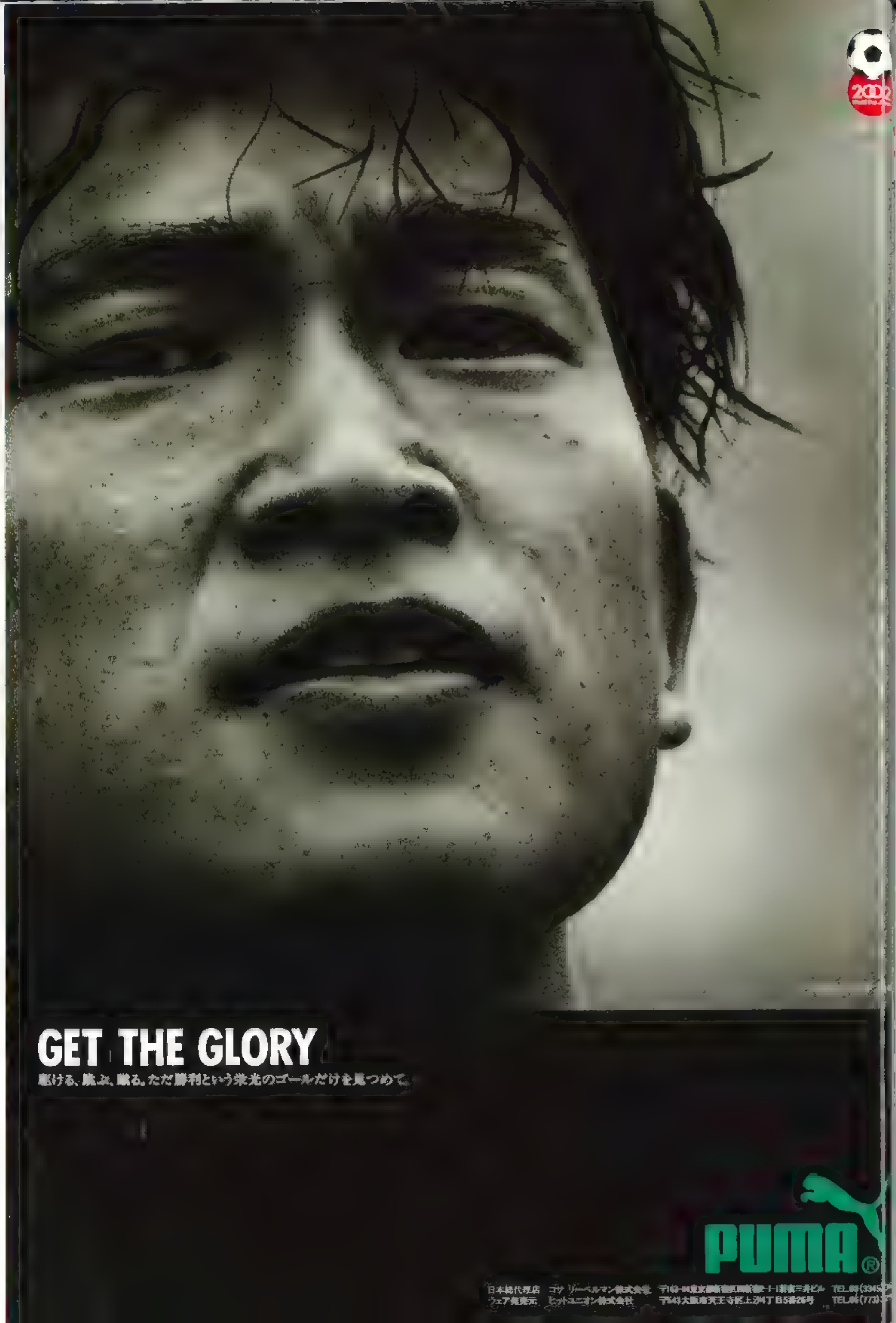
「2002年ワールドカップ」招致活動の一環として、1993年7月の札幌を皮切りに国内開催候補地15都市（左ページ参照）と12月の東京まで、各地域の人々にワールドカップの魅力とすばらしさ、さらにはその歴史や開催の意義を知っていただくために「ワールドカップ展」が開催されました。期間中会場を訪れたのは26万人にものぼり、これをきっかけに地元住民のワールドカップに対する関心が日増しに高まってきています。

ワールドカップ展も招致活動の一環。

2002年ワールドカップフレンドリークラブ

あなたが参加して「2002年ワールドカップ」日本招致を実現させるための会員組織です。

一人ひとりの声は小さくても、その声が集まれば日本招致のための力強いパワーとなってわたしたちの願いを世界に伝えることができます。チビっ子からお年寄りまで誰でも入会でき、入会金（1000円）は日本招致のための活動費に充てられます。もちろん、入会されたあなたには会員カードを発行、特製会員バッチもプレゼントします。お問い合わせは、2002年ワールドカップ招致フレンドリークラブ☎03(3746)2002へ。



キリンは、サッカーを応援しています。

華麗なドリブルが、私たちを興奮へと導いてくれる。
強烈なシュートが、私たちを感動で満たしてくれる。
世界のイレブン目指して、頑張れニッポン!!
KIRINが応援しています。

KIRIN

日本代表チーム等の今年度オフィシャル サプライヤー

日本代表/日本女子代表

asics

日本オリンピック代表等

日本学生選抜 他

プーマ グループ

PUMA

コサ リーベルマン株式会社

ヒットユニオン株式会社

日本ユース代表

19歳以下の選手による日本代表

adidas

一瞬の静寂

歴史を見つめ伝説をつくるアディダス

誰にでも、忘れられない一瞬があります。

汗と涙のしみこんだ、その熱い想い出の場面を、アディダスはいつも見つめてきました。
そしてアディダスは、1970年メキシコワールドカップ大会の公式試合球として登場して以来、世界最高の舞台でくり広げられてきた、数々の英雄伝説も、つねに見つめてきました。
歴史を見つめ、そしてこれからも見守り続けるアディダス。

2002

NLGS17-07

発売元

株式会社 モルテン

東京本社　東京都墨田区横川5丁目5-7 〒130 ☎03-3625-8301(代)

大阪・名古屋・福岡・広島・仙台・札幌・リノU.S.A・デュッセルドルフG

第12回アジア競技大会

THE 12th ASIAN GAMES
HIROSHIMA 1994

広島アジア大会は43ヵ国・地域が参加して10月2日に開幕する。サッカーは他の競技に先がけて10月1日にキックオフ、アジアのナンバーワンを競う。男子は出場辞退が相次ぎ、9月16日に再抽選となったが、参加は19ヵ国・地域。日本はDグループに組み入れられたが、ファルカン日本の公式戦スタートとなる今大会は、見どころの多い戦いとなりそうだ。女子は、日本のほか、中国、韓国、チャイニーズタイペイの4ヵ国が1回戦総当たりリーグの後、決勝を行う。

サッカーのスケジュール

（男子）（19チーム）

期　日	No.	グループ	対戦組み合わせ	キックオフ	会　場
10月1日(土)	1 2	A A	トルクメニスタン：中　国 イエメン：バーレーン	16：00 19：00	広島広域公園第一球技場
	3 4	B B	サウジアラビア：ウズベキスタン マレーシア：ホンコン	16：00 19：00	広島県総合グランド メインスタジアム
	5	C	韓　国：ネパール	19：00	びんご運動公園陸上競技場
	6	C	クウェート：オマーン	19：00	みよし運動公園陸上競技場
10月3日(月)	7 8	B B	マレーシア：ウズベキスタン タ　イ：ホンコン	16：00 19：00	広島広域公園第一球技場
	9 10	A A	イエメン：中　国 イラン：バーレーン	16：00 19：00	広島県総合グランド メインスタジアム
	11 12	C C	オマーン：パレスチナ クウェート：ネパール	16：00 19：00	びんご運動公園陸上競技場
	13 14	D D	ミャンマー：カタール 日　本：アラブ首長国連邦	16：00 19：00	みよし運動公園陸上競技場
10月5日(水)	15 16	C C	クウェート：パレスチナ 韓　国：オマーン	16：00 19：00	広島広域公園第一球技場
	17 18	D D	ミャンマー：アラブ首長国連邦 日　本：カタール	16：00 19：00	広島県総合グランド メインスタジアム
	19 20	A A	バーレーン：中　国 イラン：トルクメニスタン	16：00 19：00	びんご運動公園陸上競技場
	21 22	B B	ホンコン：ウズベキスタン タ　イ：サウジアラビア	16：00 19：00	みよし運動公園陸上競技場
10月7日(金)	23	A	イラン：中　国	19：00	広島広域公園第一球技場
	24	A	イエメン：トルクメニスタン	19：00	広島県総合グランド メインスタジアム
	25 26	B B	タ　イ：ウズベキスタン マレーシア：サウジアラビア	16：00 19：00	びんご運動公園陸上競技場
	27 28	C C	ネパール：パレスチナ 韓　国：クウェート	16：00 19：00	みよし運動公園陸上競技場
10月9日(日)	29 30	B B	ホンコン：サウジアラビア タ　イ：マレーシア	16：00 19：00	広島広域公園第一球技場
	31 32	C C	韓　国：パレスチナ オマーン：ネパール	16：00 19：00	広島県総合グランド メインスタジアム
	33 34	D D	アラブ首長国連邦：カタール 日　本：ミャンマー	16：00 19：00	びんご運動公園陸上競技場
	35 36	A A	バーレーン：トルクメニスタン イラン：イエメン	16：00 19：00	みよし運動公園陸上競技場
10月11日(火)	37	準々決勝	Aグループ1位：Bグループ2位	19：00	びんご運動公園陸上競技場
	38	準々決勝	Bグループ1位：Aグループ2位	19：00	みよし運動公園陸上競技場
	39	準々決勝	Cグループ1位：Dグループ2位	19：00	広島広域公園第一球技場
	40	準々決勝	Dグループ1位：Cグループ2位	19：00	広島県総合グランドメインスタジアム
10月13日(木)	41 42	準決勝 準決勝	37の勝者：39の勝者 38の勝者：40の勝者	16：00 19：00	広島広域公園第一球技場
10月15日(土)	43	3位決定戦	41の敗者：42の敗者	19：00	広島広域公園第一球技場
10月16日(日)	44	決勝戦 閉会式	41の勝者：42の勝者	14：00	広島広域公園陸上競技場

（女子）（4チーム）

期　日	No.	対戦組み合わせ	キックオフ	会　場
10月3日(月)	1	チャイニーズタイペイ：中　国	15：00	福山市竹ケ端運動公園陸上競技場
10月4日(火)	2	日　本：韓　国	15：00	福山市竹ケ端運動公園陸上競技場
10月6日(木)	3	チャイニーズタイペイ：日　本	15：00	福山市竹ケ端運動公園陸上競技場
10月7日(金)	4	中　国：韓　国	15：00	福山市竹ケ端運動公園陸上競技場
10月9日(日)	5	チャイニーズタイペイ：韓　国	15：00	福山市竹ケ端運動公園陸上競技場
10月10日(月)	6	中　国：日　本	15：00	福山市竹ケ端運動公園陸上競技場
10月12日(水)	7	決　勝	18：00	福山市竹ケ端運動公園陸上競技場

サッカーのグループ分け

（男子）

Aグループ	イラン、イエメン、バーレーン、トルクメニスタン、中国
Bグループ	タイ、マレーシア、ホンコン、サウジアラビア、ウズベキスタン
Cグループ	韓国、クウェート、オマーン、ネパール、パレスチナ
Dグループ	日本、ミャンマー、アラブ首長国連邦、カタール

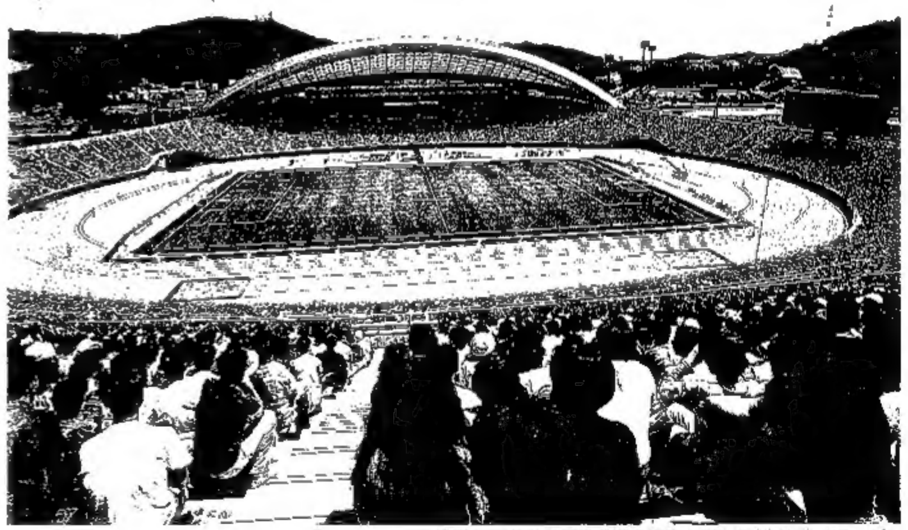
（女子）

チャイニーズタイペイ、中国、日本、韓国

男子は6月1日にいったん決まった組み合わせの後で、インド、モンゴル、カザフスタン、インドネシア、ブルネイが不参加を表明。AFC（アジアサッカー連盟）の呼びかけに応じ、マレーシアとパレスチナが加わったが、結局19ヵ国・地域で抽選をやり直した。

開催国としてシードの日本にとっては、厳しい組み合わせとなった。3日の初戦がいきなり強豪のアラブ首長国連邦。各組2位までが進出する準々決勝へ向けて試練のスタートとなりそうだ。

続く第2戦ではカタールと顔を合わせる。1992年のバルセロナ・オリンピックのアジア最終予選では1位になっている実力派。ワールドカップ・アメリカ大会アジア最終予選には進めなかったが、個人技は高く、日本としては息の抜けない戦いを覚悟しなくてはなるまい。



決勝の会場となる広島広域公園陸上競技場（広島ビッグアーチ）。

新生日本としては仕上がり具合が気になるところで、セリエA（イタリア1部リーグ）開幕戦で負傷した三浦カズの回復も気がかり。ファルカン監督の"アジアにらみ"のチームづくりと戦術、戦略が見ものである。

予選リーグが出場国の減少で5組から4組になったことから、日本を除くシードは、Aグループが前回優勝のイラン、Bグループが同4位のタイ、Cグループが同3位の韓国となり、当初、Dグループにシードされていたワールドカップ・アメリカ大会アジア予選1位のサウジアラビアは外れ、Bグループに入った。

このため準々決勝進出への最激戦区はBグループといえそうだ。タイ、サウジアラビアのほかに香港も加わって、厳しい星のつぶし合いが展開されそうである。

残る二つの組でベスト8へ進むとみられるのは、Aグループがイランと前回開催地の中国、Cグループがアメリカでのワールドカップに出場した韓国と、クウェートだろう。

日本が準々決勝へ進んだ場合、相手はCグループとなるだけに、ここでも厳しい戦いを強いられそうだ。アジア大会をきっかけに、再びアジア1を目指す日本としては、アクセルを踏みっ放しの大会となるだろう。

女子は、中国が日本の前に大きく立ちはだかることは間違いない。前回の北京大会で日本は中国に0－5と大敗し、2位に終わっている。新旧の交代期にあるといわれる中国だけにツケ入るスキがあるともいえるが、よほどの奮起が必要だろう。ともかく開催国日本としてサポーターを沸かす戦いを期待したい。

大会に参加する日本人レフェリー

■主審　岡田　正義
Masayoshi OKADA

■主審　森津　陽太郎
Yotaro MORITSU

■主審　小川　佳実
Yoshimi OGAWA

■主審　布瀬　直次
Naotsugu FUSE

■線審　福田　寛
Hiroshi FUKUDA

■線審　広嶋　禎数
Yoshikazu HIROSHIMA

■（女子）　吉澤　久恵
Hisae YOSHIZAWA

■（女子）　渡辺　弥生
Yayoi WATANABE

アジア競技大会における日本代表

アジア地域における“スポーツの祭典”として、第2次世界大戦終了の5年後、1950年から始まったのが「アジア競技大会」(以下アジア大会)。男子のサッカーは、インドのニューデリーで開催された第1回大会から行われ、以来日本代表チームもすべての大会に参加している。

これまで日本があげた最高の成績は3位で、第1回と第5回大会の2度。1958年には東京で開かれたが、フィリピンに0－1、香港に0－2と連敗し、予選リーグで敗退した。しかし11ヵ国が出場した1966年のバンコク大会では、快調に勝ち進んだ。

メキシコ五輪予選を翌年に控えた日本は、釜本、杉山を攻撃の軸に、1次リーグ3戦、2次リーグ2戦を全勝で通過し、準決勝でイランと対戦した。1次リーグでは3－1と快勝した相手だったが、結果は0－1の敗戦。アジア最強と評価が高かったが決勝進出はならず、3位決定戦でシンガポールを2－0で破り大会を終えた。

続く第6回大会もバンコクで行われたが、日本はベスト4をキープした。やはり2次リーグまでの5試合にすべて勝利を収め、準決勝の相手は宿敵・韓国。先制された日本は後半、上田のシュートで追いついた。しかし延長戦で力尽き、1－2の惜敗。実に4日連続の試合となった3位決定戦では、さすがに疲労の色が濃く、2次リーグでは勝っているインドに0－1で敗れた。

その後日本は、第7回、第8回大会と1次リーグで敗退する。だが1982年の第9回ニューデリー大会は、準々決勝で姿を消したものの、内容的には充実していた。

森監督率いる日本は、初戦でイランを1－0と破る好スタート。木村の決勝点は、イランから初の勝利をあげる貴重な一発となった。南イエメンに3－1で逆転勝ちした後、ベスト8入りをかけて対戦したのが韓国。この試合も前半に先制されたものの、原、岡田のゴールで2－1とし、予選リーグを文句なしの1位で突破した。

準々決勝は、強豪のイラクが相手となった。互いに譲らず0－0のまま延長戦に突入したが、日本はその前半終了間際に失点を喫してしまい、準決勝への道を断たれた。しかしイラクは、この大会で優勝を飾った実力をもつチームだけに、日本の健闘が光った試合といえるだろう。

ソウルでの第10回大会は、予選リーグ2勝2敗で敗退。クウェート、イランという中東勢には完敗した。

前回の北京大会は、横山監督のもと、三浦カズやラモスといった“新顔”を加えて臨んだ。湾岸戦争の影響によるイラクの締め出し、カタール、インドネシアの不参加で予選リーグ組み分けが変更となり、日本は初戦でバングラデシュを3－0と破った時点で準々決勝進出を決めた（第2戦はサウジアラビアに0－2）。だが4年前の予選リーグ同様、またしてもイランの壁を突破できず、0－1で敗れ準決勝に進むことはできなかった。

一方、女子のサッカーは、この北京大会から正式種目に加えられた。6ヵ国総当たりのリーグ戦で、日本は初戦、優勝候補の地元・中国に0－5の大敗。その後、韓国、香港を連破し、第4戦では過去一度も勝ったことのないチャイニーズタイペイに3－1と快勝し、銀メダル獲得に大きく前進した。そして最終戦で北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）と1－1で引き分け、中国がチャイニーズタイペイを破ったことで、日本の2位が決定した。

36年ぶりに地元で開催されるアジア大会は、数日後に幕が開く。男女とも、これまで以上の成績を期待したいところだ。

過去のアジア大会成績

〈男子〉

	開催地	優勝	2位	3位	日本の成績
第1回(1950年)	ニューデリー(インド)	インド	イラン	日本	3位
第2回(1954年)	マニラ(フィリピン)	台湾	韓国	ビルマ	予選リーグ敗退
第3回(1958年)	東京(日本)	台湾	韓国	インドネシア	予選リーグ敗退
第4回(1962年)	ジャカルタ(インドネシア)	インド	韓国	マレーシア	予選リーグ敗退
第5回(1966年)	バンコク(タイ)	ビルマ	イラン	日本	3位
第6回(1970年)	バンコク(タイ)	ビルマ、韓国の両者優勝		インド	4位
第7回(1974年)	テヘラン(イラン)	イラン	イスラエル	マレーシア	1次リーグ敗退
第8回(1978年)	バンコク(タイ)	韓国、北朝鮮の両者優勝		中国	1次リーグ敗退
第9回(1982年)	ニューデリー(インド)	イラク	クウェート	サウジアラビア	準々決勝進出
第10回(1986年)	ソウル(韓国)	韓国	サウジアラビア	クウェート	予選リーグ敗退
第11回(1990年)	北京(中国)	イラン	北朝鮮	韓国	準々決勝進出

〈女子〉

	開催地	優勝	2位	3位	日本の成績
第11回(1990年)	北京(中国)	中国	日本	北朝鮮	2位

北朝鮮＝朝鮮民主主義人民共和国

平成6年度 検定社リスト

財団法人 日本サッカー協会

WALES
TACHIKARA タチカラ株式会社
本社:〒110 東京都台東区松ヶ谷1-11 TEL.03(3842)6811～5 営業所:東京・大阪・名古屋・福岡・札幌

SCEPTRE
株式会社セプター
〒130 東京都墨田区横川4-1-4 TEL.03(3626)4501～2

CRiX YASUDA
株式会社・クリックスヤスダ
〒170 東京都豊島区南大塚3-3-2新大塚Sビル TEL.03(3981)1021(代)

molten
株式会社 モルテン
東京支店:〒130 東京都墨田区横川5丁目5-7 TEL.03(3625)8301(代)

MIKASA
ミカサボール 明星ゴム工業株式会社
東京営業所:〒101 東京都台東区松ヶ谷1丁目5-14 TEL.03(3843)4671(代)

MIZUNO THE WORLD OF SPORTS
●ミズノ製品についてのお問い合わせ・ご相談は――「ミズノお客様商品相談センターMUSIC」
〒101 東京都千代田区神田小川町3丁目22 TEL.03(3233)7110
〒559 大阪市住之江区南港北1-12-35 TEL.06(614)8110

FINITO
株式会社 イブキトレーディング
本社:〒578 東大阪市本庄西2丁目116番地 TEL.06(747)5495 FAX.06(745)3912

PUMA
uhlsport pro
コサ リーベルマン株式会社 スポーツ用品事業本部 第二営業本部
〒163-04 東京都新宿区西新宿2-1-1新宿三井ビル TEL.03(3345)3680

JETMACH
ジェットマッハ
BAYERN
有限会社
マルタケ商事 バイエルン事業部
〒321-01 宇都宮市宮本町11-9 TEL.0286(58)8850 FAX.0286(58)8891

第6回日本女子サッカーリーグ後期日程

第10節　10月23日(日)

日興證券ドリームレディース	TOKYO SHIDAX LSC	14:00	秋津サッカー場
フジタ天台SCマーキュリー	浦和レディースFC	12:00	町田市立陸上競技場
読売西友ベレーザ	旭国際バニーズ	14:00	町田市立陸上競技場
鈴与清水FCラブリーレディース	松下電器LSCバンビーナ	12:00	シロキSEGグラウンド
シロキFCセレーナ	プリマハムFCくノ一	14:00	シロキSEGグラウンド

第11節　10月30日(日)

旭国際バニーズ	日興證券ドリームレディース	12:00	伊勢崎市営陸上競技場
TOKYO SHIDAX LSC	鈴与清水FCラブリーレディース	14:00	伊勢崎市営陸上競技場
プリマハムFCくノ一	浦和レディースFC	14:00	三重県営鈴鹿スポーツガーデン
フジタ天台SCマーキュリー	読売西友ベレーザ	14:00	広島広域公園球技場
シロキFCセレーナ	松下電器LSCバンビーナ	14:00	シロキSEGグラウンド

第12節　11月3日(祝)

浦和レディースFC	シロキFCセレーナ	13:00	埼玉県営大宮公園サッカー場
日興證券ドリームレディース	フジタ天台SCマーキュリー	13:00	国立西が丘サッカー場
鈴与清水FCラブリーレディース	旭国際バニーズ	14:00	湖西運動公園陸上競技場
読売西友ベレーザ	プリマハムFCくノ一	12:00	太陽が丘陸上競技場
松下電器LSCバンビーナ	TOKYO SHIDAX LSC	14:00	太陽が丘陸上競技場

第13節　11月6日(日)

松下電器LSCバンビーナ	浦和レディースFC	11:00	万博記念競技場
シロキFCセレーナ	読売西友ベレーザ	13:00	豊田総合陸上競技場
フジタ天台SCマーキュリー	鈴与清水FCラブリーレディース	13:00	荻野運動公園
プリマハムFCくノ一	日興證券ドリームレディース	13:00	高岡市中核スポーツゾーンサッカー場
旭国際バニーズ	TOKYO SHIDAX LSC	13:00	亀岡運動公園陸上競技場

第14節　11月13日(日)

読売西友ベレーザ	浦和レディースFC	13:00	国立西が丘サッカー場
日興證券ドリームレディース	シロキFCセレーナ	12:00	多摩市立陸上競技場
TOKYO SHIDAX LSC	フジタ天台SCマーキュリー	14:00	多摩市立陸上競技場
鈴与清水FCラブリーレディース	プリマハムFCくノ一	12:00	枚方市立陸上競技場
松下電器LSCバンビーナ	旭国際バニーズ	14:00	枚方市立陸上競技場

第15節　11月20日(日)

フジタ天台SCマーキュリー	旭国際バニーズ	12:00	シロキSEGグラウンド
シロキFCセレーナ	鈴与清水FCラブリーレディース	14:00	シロキSEGグラウンド
読売西友ベレーザ	松下電器LSCバンビーナ	13:00	多摩市立陸上競技場
浦和レディースFC	日興證券ドリームレディース	14:00	武蔵野市立陸上競技場
プリマハムFCくノ一	TOKYO SHIDAX LSC	13:00	岐阜メモリアルセンター長良川球技場

第16節　11月23日(祝)

鈴与清水FCラブリーレディース	浦和レディースFC	13:00	湖西運動公園陸上競技場
日興證券ドリームレディース	読売西友ベレーザ	13:00	大分市営陸上競技場
TOKYO SHIDAX LSC	シロキFCセレーナ	13:00	川越運動公園陸上競技場
松下電器LSCバンビーナ	フジタ天台SCマーキュリー	12:00	神戸ユニバー競技場
旭国際バニーズ	プリマハムFCくノ一	14:00	神戸ユニバー競技場

第17節　11月27日(日)

TOKYO SHIDAX LSC	浦和レディースFC	13:00	御殿場市営陸上競技場
シロキFCセレーナ	旭国際バニーズ	13:00	シロキSEGグラウンド
読売西友ベレーザ	鈴与清水FCラブリーレディース	13:00	町田市立陸上競技場
日興證券ドリームレディース	松下電器LSCバンビーナ	13:00	秋津サッカー場
プリマハムFCくノ一	フジタ天台SCマーキュリー	13:00	熊本市営水前寺競技場

第18節　12月4日(日)

鈴与清水FCラブリーレディース	日興證券ドリームレディース	13:00	富士総合運動公園陸上競技場
フジタ天台SCマーキュリー	シロキFCセレーナ	14:30	平塚競技場
TOKYO SHIDAX LSC	読売西友ベレーザ	13:00	国立西が丘サッカー場
松下電器LSCバンビーナ	プリマハムFCくノ一	12:00	尼崎陸上競技場
旭国際バニーズ	浦和レディースFC	14:00	尼崎陸上競技場

決勝	**12月18日(日)**	読売西友ベレーザ(前期勝者)	後期勝者	13:00	国立西が丘サッカー場
東西戦	**2月12日(日)**	東軍選抜	西軍選抜	13:00	国立西が丘サッカー場